

子どものセーフティネットとウェルビーイングに関する専門部会 (たたき台)

■設置趣旨

育児放棄や身体的虐待などによって、被害児童が死に至る事件が連日報道され、市の要保護児童対策地域協議会や児童相談所の果たす役割に注目が集まっている。

市では、子育て支援策として、相談窓口を設けるほか、妊娠中の予防的介入や、医療機関、保育所・幼稚園・小学校などを通じた児童虐待防止などに取り組んでいるが、虐待に関する通報は後を絶たない。他方、家庭環境や保育環境が子どもの健康や心身の発達に影響することから、子育て期の保護者の働き方や経済的な支援も課題となっており、児童虐待と保護者の経済的な困窮の間に、少なからず関連があることも考えられる。

そこで、子ども・子育て会議では主に児童虐待防止や子どものウェルビーイング保護の観点から専門部会を設置し、第2期の子ども・子育て支援事業計画の特色ともなる子育て支援策を盛り込むことを検討する。

■専門部会の構成

専門部会の編成に当たっては、保護者の周産期から就学期まで、また、主に子どもの就学後の子育て支援策を検討するため、子育て相談、臨床心理、医学、疾病予防、育児、虐待、福祉などの各分野から現場に精通する関係者を選出する。最大9名を想定。

■開催スケジュール

1回目 8月下旬から9月上旬

テーマ ニーズ調査等の結果から見た岩見沢市の子育て環境

- ① ニーズ調査等結果
 - ・経済的、生活環境の充足度
 - ・子育ての困り感など
- ② 現計画と比較した想定される支援策
 - ・経済的観点、社会的観点
 - ・他市の状況

■ 2回目 10月中旬から下旬

テーマ 子ども・子育てプランに盛り込む施策

- ① 保護者向けの支援について
 - ・周産期、乳幼児の支援
 - ・就学前の支援
- ② 子どもの支援について
 - ・主に就学後の支援